

令和6年度 学校経営方針

市の方針と重点

＜方針＞
郷土高山に根ざし、
未来を切り拓くための
資質・能力を育む
＜重点＞
挑戦し続けるたくましさの育
成 個と向き合う
安心できる居場所
なりたい自分の実現
深い学びの実感

学校の教育目標

ふるさとを愛する
心豊かな たくましい子

～ 考え話す子
助け合いやり抜く子
やさしく元気な子 ～

学校課題

- ・受け身でなく、自分で考え、動き出し、結果に責任をもつ
- ・学びを自分とつなげて考え、発信する
- ・固定化された見方を打破し、多様なものの見方ができる
- ・小規模校の強みを生かした学校経営を推進する（ICT活用）

【育てたい資質・能力】対話を通して自分の考えをつくり 動き出す力

学習：対話を通して、
自分の考えを深め広げる

生活：対話を通して、
自分・学級・学校を高める

楽しい授業

- 主体的・対話的で深い学び
 - ・考えをもつために自分から動き出す（教科書 ノート 仲間 先生）
 - ・意図的な対話活動（目的・相手・つなぐ）
 - ・学習成果の発信
- 個別最適な学び 協働的な学び
 - ・学び方の選択（学習形態 学習方法）
 - ・効果的なICT活用

*基礎基本の定着 家庭学習、朝活動
*「間違えたって大丈夫」

学校を楽校へ

1期	めざす
2期	動き出す
3期	やり切る
4期	高める
5期	認め合う

楽しい学校

- なりたい自分、学級・学校の宝づくり
 - ・自分のよさをいかしたチャレンジ
 - ・対話・発信する機会を位置づける
 - ・児童会活動 自分たちで考え、動き出す
 - ・縦割り活動（なかよしDAY）
 - ・全校での認め合い活動（全校集会）
- 安心・安全な学校づくり
 - ・居場所づくり（学級 縦割りグループ）
 - ・心のアンケート マイサポーターの充実
- *願い→努力→達成 期ごとのサイクル
- *一人一人が宝物 多様性の尊重

地域とともにある学校

- 保小中の連携を図り、つながりのある教育活動を推進する（学校運営協議会 北稜校区連携会議）
- 多様な考えにふれる交流を積極的に行う（栃尾小との交流 海の子山の子交流 地域講師）
- 地域とつながり発信するふるさと教育を推進する（自然 産業 文化 人 はちの子会発表）

本郷小職員としての構え

対話を通して、自ら動き出す職員集団

- ・一人一人が宝物（いじめ未然防止・教育相談・ケース会議→組織で対応、指導・支援の共通理解）
- ・子どもの主体性を育む指導・支援に徹する（良さを認める 見届け価値づける 支援のひき算）
- ・一人一人が力をつける 良さを生かす（授業公開 日常的なICT活用交流）
- ・仕事の見通し、優先順位を考えながら、教師自身がワクワクする活動を生み出す